

令和7年度中堅企業支援セミナー開催のご案内

共催：広島市工業技術センター

下記の通り、一般社団法人軽金属学会中国四国支部 令和7年度中堅企業支援セミナーを開催致します。
温室効果ガスによる地球温暖化に対応するため、自動車産業ではCO₂削減に向け、車両の軽量化が図られており、アルミニウム合金やマグネシウム合金などの軽金属の適用が進められています。

そこで、本セミナーでは、軽金属に関連した表面処理による高機能化技術に関する話題を取り上げます。
軽金属学会会員に限らず、異業種分野の皆様の参加も歓迎致します。多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

一般社団法人軽金属学会中国四国支部
支部長 田中 康弘

日 時：令和7年12月17日（水）13：30～16：00

場 所：広島市工業技術センター（広島市中区千田町3丁目-8-24）<https://www.itc.city.hiroshima.jp/>

プログラム

13：30～13：35 開会の挨拶 支部長 田中

13：40～14：40 講演①「アルミニウムのアノード酸化プロセスにおける技術動向」

奥野製薬工業(株) 原 健二 氏

アルミニウムのアノード酸化プロセスは、電気絶縁性、耐食性、染色性、高硬度、耐摩耗性などの様々な機能が得られることから工業的に広く利用されている。本講演では、機能および環境対応をキーワードにアルミニウムのアノード酸化プロセスの技術動向について紹介する。

14：40～15：00 休 憩

15：00～16：00 講演②「蒸気コーティングを利用したマグネシウム合金の表面処理」

芝浦工業大学 工学部 石崎 貴裕 氏

マグネシウム合金は実用金属材料中で最軽量であることから、軽量化が求められる分野での利用が期待されている。しかし、マグネシウムは活性が高いため、腐食しやすいという欠点がある。この課題を解決するためには、皮膜を被覆して、耐食性を向上させる必要がある。陽極酸化や化成処理が代表的な表面処理技術であるが、これらの手法には、多段階の前処理が必要、試薬を利用するため環境負荷が高い、等の課題がある。

本講演では、少ない前処理かつ試薬フリーで処理可能な、水蒸気を活用した蒸気コーティングによるマグネシウム合金への表面処理技術について紹介する。

【申込み・お問合せ】

広島工業大学 工学部 機械情報工学科 日野 実

〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1 広島工業大学 工学部 機械情報工学科内

Tel & Fax：082-921-4454（日野 実） E-mail：m.hino.j3@cc.it-hiroshima.ac.jp

申込締切：12月10日(水)